

②サービス利用状況

A市の介護保険サービスの給付状況について居宅介護サービス計画費を除いたサービスの中では、平成12年度、13年度共に、訪問介護サービスを利用している要介護者が多かった。

サービス件数からみると平成13年度では、15,463件の利用がみられる。また、訪問介護サービスの次に利用が多いのは通所介護で11,722件、福祉用具貸与が13,504件、居宅療養管理指導が7,827件であった。

施設サービスにおいては、平成13年度では、介護老人福祉施設の利用が多く6,006件、次に介護老人保健施設4,791件、介護療養型医療施設2,019件であった。

表Ⅲ-1-8 給付取扱状況

・在宅サービス (単位:円)

区分	総数		訪問介護		訪問入浴介護		訪問看護	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成12年度	74,905	2,117,054,746	10,781	479,333,653	1,814	82,161,405	4,684	182,933,511
	9,599	141,093,649	2,570	44,663,264	-	-	164	3,789,238
平成13年度	109,056	3,248,181,604	15,463	766,929,256	2,415	116,845,527	5,448	201,771,621
	11,358	178,844,279	3,023	57,195,661	-	-	110	1,905,653

区分	訪問リハビリテーション		通所介護		通所リハビリテーション		福祉用具貸与	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成12年度	188	2,029,601	8,384	358,824,116	5,844	346,186,455	6,581	82,126,530
	3	25,045	1,205	30,012,822	517	16,197,616	372	4,567,410
平成13年度	281	3,667,278	11,722	587,090,782	7,990	464,487,204	13,504	174,038,715
	-	-	1,377	35,488,589	582	18,173,230	658	8,100,675

区分	短期入所生活介護		短期入所療養介護		居宅療養管理指導		痴呆対応型共同生活介護	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成12年度	2,065	120,712,564	771	49,707,497	6,531	51,371,185	57	12,566,961
	41	1,225,489	10	396,243	432	3,436,470	-	-
平成13年度	2,719	174,637,992	1,442	105,352,928	7,827	63,420,768	198	43,786,972
	27	869,870	15	874,654	346	2,535,480	-	-

区分	特定施設入所者生活介護		替短期入所サービス給付		特定診療費		居宅介護サービス計画費	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成12年度	429	74,690,251	512	35,586,884	29	183,906	21,504	165,587,280
	64	3,923,958	12	264,980	-	-	4,086	26,596,000
平成13年度	660	114,291,731	752	69,003,634	74	413,352	31,131	238,369,580
	139	9,005,607	5	159,511	-	-	4,851	31,551,960

区分	福祉用具購入費		住宅改修費		高額介護サービス費	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成12年度	508	13,655,487	369	39,310,247	3,854	20,087,213
	67	1,372,225	52	4,619,707	4	3,182
平成13年度	787	21,841,395	615	69,411,929	6,028	32,820,940
	93	1,937,571	93	11,029,532	39	16,286

資料:福祉保健部高齢福祉・介護課

・施設サービス

(単位:円)

区分	総数		介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成12年度	22,222	3,311,645,309	4,646	1,297,434,356	3,687	920,795,446	1,829	597,785,314
平成13年度	27,435	3,826,653,840	6,006	1,470,591,236	4,791	1,145,170,417	2,019	640,254,309

区分	特定診療費		食事費用額	
	件数	金額	件数	金額
平成12年度	1,823	29,068,503	10,237	466,561,690
平成13年度	1,911	24,147,198	12,708	546,490,680

資料:福祉保健部高齢福祉・介護課

③事業者数

事業者数で最も多いのは、居宅介護支援（ケアマネジメント）事業者で70である。次いで、訪問介護（ホームヘルプサービス）が37で多い。福祉用具貸与も30と多く、通所介護29と並んでいる。

入所施設としては、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が19で、介護老人保健施設（老人保健施設）15よりも多く、施設数としては、介護療養型医療施設（療養型病床群）が7と少ない。

痴呆対応型共同生活介護（グループホーム）は、6箇所と少ないが、今後、増加が望まれる施設といえる。

表Ⅲ-1-9 サービスの種類別事業者数

	サービスの種類	事業者数		
		市内	市外	合計
1	居宅介護支援(ケアマネジメント)	51	19	70
2	訪問介護(ホームヘルプサービス)	31	6	37
3	訪問入浴介護	3	1	4
4	訪問看護	14	3	17
5	通所介護(デイサービス)	26	3	29
6	通所リハビリテーション	14	4	18
7	訪問リハビリテーション	1	2	3
8	短期入所生活介護(ショートステイ)	6	12	18
9	短期入所療養介護(ショートステイ)	11	10	21
10	痴呆対応型共同生活介護(グループホーム)	5	1	6
11	福祉用具貸与	11	19	30
12	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	6	13	19
13	介護老人保健施設(老人保健施設)	5	10	15
14	介護療養型医療施設(療養型病床群)	5	2	7
	合計	189	105	294

介護保険の状況 A市統計年鑑（平成13年度版）より

(4) 要介護認定実施状況

①介護認定申請者、要介護度別認定者実数

A市における介護認定申請者数は、平成12年4月から平成15年2月現在までで、新規の合計は6,673名、更新申請の合計は19,547名、区分変更は630名であった。

月々の新規申請者は、平成12年度で平均180.7名であり、平成13年度では、188.7名、平成14年度では186.8名であった。

表Ⅲ-1-10 要介護認定実施状況

平成12年度 月別申請状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規申請	214	197	185	139	145	169	171	154	178	189	230	197	2168
更新申請	0	383	558	602	731	577	525	690	619	671	630	595	6581
前住所地	7	9	4	9	6	3	6	3	3	2	4	12	68
区分変更	21	21	10	6	10	15	12	17	14	17	14	16	173
計	242	610	757	756	892	764	714	864	814	879	878	820	8990

平成13年度 月別申請数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規申請	176	180	171	171	201	187	199	194	143	194	217	231	2264
更新申請	348	692	651	683	630	685	618	757	666	480	386	374	6970
前住所地	9	9	3	4	4	5	8	2	13	3	13	15	88
区分変更	18	15	16	18	11	14	12	21	14	22	18	38	217
計	551	896	841	876	846	891	837	974	836	699	634	658	9539

平成14年度 月別申請数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規申請	182	210	201	207	202	213	199	199	171	215	242	0	2241
更新申請	309	327	397	607	658	621	625	664	677	625	486	0	5996
前住所地	13	18	11	10	8	11	7	10	9	5	10	0	112
区分変更	24	13	22	20	20	21	24	24	24	21	27	0	240
計	528	568	631	844	888	866	855	897	881	866	765	0	8589

更新申請には、要支援認定の更新が行われよう介護認定がでる見込みのある者も含む。

区分変更には要支援認定の区分変更も含む。

②要介護認定者数年次別比較

平成13年4月1日現在では、要介護1が最も多く1,086名(23.7%)、次いで要介護2が1,075名(23.4%)、要介護3が780名(17.0%)と続いた。平成14年4月1日現在においても、要介護1が最も多く1,372名(25.7%)、要介護2が1,250名(23.4%)、要介護3が865名(16.2%)であった。また、増減を見てみると、すべての要介護度で増加の傾向が見られたが、最も増加したのは、要介護1で286名、次に要介護2で175名、要介護4で115名であった。

表Ⅲ・1・11 学区別要介護認定者数

平成14年4月1日現在 (単位:人)

区 分	菟川	伊香立	真野	真野北	堅田	仰木	仰木の里	仰木の里東	雄琴
要支援	—	7	6	18	22	4	5	4	17
要介護1	6	19	34	32	60	16	9	11	45
要介護2	1	16	39	19	51	19	11	6	31
要介護3	—	10	31	27	34	6	5	12	16
要介護4	3	10	40	10	27	10	6	6	18
要介護5	1	7	47	13	20	9	5	2	15
計	11	69	197	119	214	64	41	41	142

区 分	日吉台	坂本	下阪本	唐崎	滋賀	比叡平	藤尾	長等	逢坂
要支援	20	18	8	40	27	4	19	30	30
要介護1	16	57	25	86	58	12	43	67	52
要介護2	18	73	21	64	52	11	22	55	49
要介護3	11	51	14	45	29	12	14	45	18
要介護4	12	39	13	34	33	6	7	39	19
要介護5	9	21	13	20	21	7	12	32	12
計	86	259	94	289	220	52	117	268	180

区 分	中央	平野	膳所	富士見	晴嵐	石山	南郷	大石	田上
要支援	21	30	41	8	23	28	24	16	20
要介護1	41	90	99	19	77	53	56	29	64
要介護2	36	57	112	25	60	49	53	27	39
要介護3	23	34	78	14	36	36	27	20	34
要介護4	13	31	44	16	39	18	23	7	33
要介護5	13	16	31	8	35	7	14	10	22
計	147	258	405	90	270	191	197	109	212

区 分	上田上	青山	瀬田	瀬田南	瀬田東	瀬田北	市外	総計
要支援	17	10	15	42	20	12	—	606
要介護1	12	22	21	62	37	31	11	1,372
要介護2	13	25	20	73	45	45	13	1,250
要介護3	11	20	11	66	20	41	14	865
要介護4	10	29	5	26	17	35	12	690
要介護5	4	25	11	36	15	29	21	563
計	67	131	83	305	154	193	71	5,346

資料:福祉保健部高齢福祉・介護課

表Ⅲ・1・12 要介護認定者数年次別比較

	平成13年4月1日現在	平成14年4月1日現在	増(△)減
要支援	542	606	64
要介護1	1,086	1,372	286
要介護2	1,075	1,250	175
要介護3	780	865	85
要介護4	575	690	115
要介護5	529	563	34
合計	4,587	5,346	759

③認定者の属性内訳

ア. 年齢階層別

A市の認定者の属性を年齢階層別にみると平成13年度では、65歳以上の第1号被保険者数は65歳以上75歳未満で26,709人、75歳以上で17,372人であった。また、第2号被保険者数は、98,499人であった。

平成14年度では、第1号被保険者数は65歳以上75歳未満で27,452人、75歳以上で18,397人であり、平成13年度に比べると、それぞれ約3%（65歳以上75歳未満）、約6%（75歳以上）増加している。

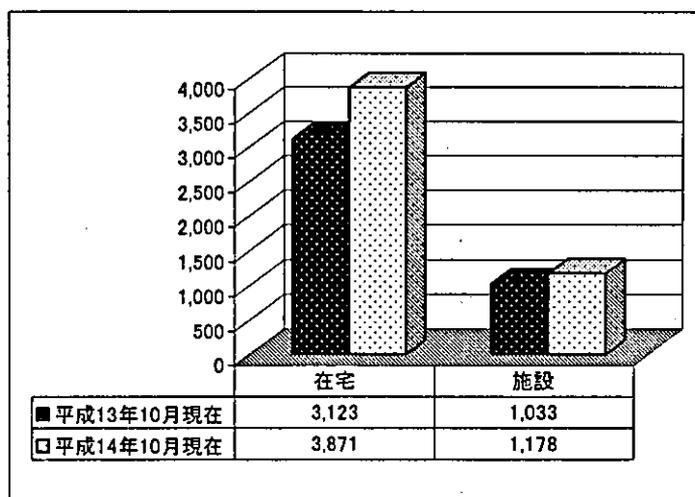
表Ⅲ-1-13 年齢別被保険者・要介護認定者数

			各年4月1日現在（単位：人）							
区 分			被保険者数	要介護認定者数計	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成13年度	第1号被保険者	65歳以上 75歳未満	26,709	823	102	191	183	154	83	110
		75歳以上	17,372	3,607	429	864	842	600	475	397
	第2号被保険者	40歳以上 65歳未満	98,499	157	11	31	50	26	17	22
平成14年度	第1号被保険者	65歳以上 75歳未満	27,452	930	126	254	194	147	113	96
		75歳以上	18,397	4,259	474	1,082	1,010	690	555	448
	第2号被保険者	40歳以上 65歳未満	99,475	157	6	36	46	28	22	19

資料：福祉保健部高齢福祉・介護課

イ. 居宅・施設入所別

平成13年10月現在で、A市の全要介護認定者のうち3,123名は、在宅で生活を行い、1,033名は施設で生活を行っていた。平成14年10月になると、どちらも人数は増え、3,871名は在宅で生活を行い、1,178名は施設で生活を行っていた。



図Ⅲ-1-10 要介護者の居宅・施設入所の割合

参考文献

	タイトル	編集発行	発行年月
1	A市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画〈おおつこ ールドプラン〉【概要版】	A市	平成12年3月
2	平成11年滋賀県患者実態調査	滋賀県健康福祉部	平成13年3月
3	A市基礎データ解析結果報告書	A市福祉保健部健康管理課	平成14年3月
4	介護サービス事業者地域マップ	A市高齢福祉・介護課	平成14年3月
5	地域で豊かに暮らすために ―痴呆を正しく理解する―	監修藤本直規 A市福祉保健部高齢 福祉・介護課	平成14年3月
6	健康管理施策立案のための基礎資料集(グラフ版)	滋賀県国民健康保険団体連合会	不明
7	A市介護保険サービス実践ガイド	A市福祉保健部 高齢福祉・介護課	不明
8	福祉の概要 平成14年度	A市福祉保健部	不明
9	A市新総合保健システム〈基本計画書〉	(株)滋賀富士通ソフトウェア	不明
10	平成13年度介護に関するアンケート調査速報	関西大学大学院社会学研究科高木修 研究室	不明

2.A市における3年間の要介護認定データに関する分析

(1) A市における要介護認定データに関する状況

今回分析の対象となったデータはA市において、平成12年4月から平成15年3月までに介護保険受給対象者として認定をうけた9944名分のデータである。要介護度別認定状況を分析した結果、認定者の資格は、経時的に変化しており、かなり複雑なデータとなっていた。

(2) 認定回数

登録数は9944名であったが、これらの高齢者が2003年3月までに30871件の認定を受けていた。その内訳は新規申請11340件、更新申請19079件、区分変更申請452件となっていた。以上の認定のうち、6回が取下区分却下で二次判定なし、458回が自立判定、529+389回が2003年4月以降に有効期間が始まるデータであり、対象外データとなる。

また、9944名の資格の変化については、死亡:2647人(150名は2000年4月には亡くなっている)、転出:242人(9名が2000年4月には転出している)、その他資格喪失:49名(6名が2000年4月にはその他資格喪失している)であった。結局、9779名(9944-150-9-6)が介護サービスなどとの照合の意味のある対象者となる。

表Ⅲ-2-1 個人ごとの認定申請回数分布(平成15年度) N=9,944

認定申請回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
N	2495	2001	1521	1241	1435	1094	148	9
(%)	25.1	20.1	15.3	12.5	14.4	11	1.5	0.1

表Ⅲ-2-2 個人ごとの認定申請回数分布(平成14年度) N=8,228

認定申請回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
N	2247	1620	1435	1740	1066	118	2

(3) 要介護認定における一次判定結果と二次判定結果の乖離

A市の要介護認定における一次判定の結果と二次判定の結果の違いについては、変更率44.3%と全国平均の約30%を大きく上回っている。判定結果の要介護度別分布は、表Ⅲ-1-3に示したとおりである。

表Ⅲ-2-3 一次判定と二次判定との関係 N=30,865

	二次判定								合計 N (%)
	自立 N (%)	要支援 N (%)	要介護1 N (%)	要介護2 N (%)	要介護3 N (%)	要介護4 N (%)	要介護5 N (%)		
自立	133 (0.4)	314 (1.0)	11 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	458 (1.5)
要支援	17 (0.1)	1894 (6.1)	1781 (5.8)	90 (0.3)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3787 (12.3)
要介護1	1 (0)	1671 (5.4)	5116 (16.6)	2817 (9.1)	314 (1.0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	9920 (32.1)
要介護2	0 (0)	70 (0.2)	923 (3.0)	3450 (11.2)	1332 (4.3)	49 (0.2)	3 (0)	0 (0)	5827 (18.9)
要介護3	0 (0)	4 (0.0)	31 (0.1)	782 (2.5)	2391 (7.8)	988 (3.2)	114 (0.4)	0 (0)	4310 (14.0)
要介護4	0 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (0.1)	692 (2.2)	2052 (6.7)	767 (2.5)	0 (0)	3550 (11.5)
要介護5	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (0)	163 (0.5)	700 (2.3)	2142 (6.9)	0 (0)	3012 (9.8)
判定なし	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0.0)
合計	151 (0.5)	3953 (12.8)	7862 (25.5)	7185 (23.3)	4897 (15.9)	3790 (12.3)	3027 (9.8)	0 (0)	30865 (100)

(4) 介護サービス利用者の年齢層

利用者の二次判定日での年齢(概算)は、最も若い者が、40歳で最高齢者は、109歳だった。平均は、81.4歳であった。

表Ⅲ-2-4 介護サービス利用者の年齢

Mean	Min.	Max.	Median	1st Qu.	3rd Qu.	NA's
81.4	40	109	82	76	88	6

(5) 介護サービス利用者の要介護認定基準時間

最小値は、0分、最大値は、178分で平均は、61.3分だった。機能訓練と間接生活介助を加算した時間は、最小値が0分で最大値が51分、平均は、14.2分であった。

表Ⅲ-2-5 介護サービス利用者の要介護認定基準時間

	要介護認定等 基準時間	機能訓練+間 接生活介助	中間評価項目 得点第1群
Mean	61.3	14.2	780.6
Min.	0	0	0
Max.	178	51	1000
Median	53	14	864
1st Qu.	34	9	680
3rd Qu.	84	17	959

(6) 月別の認定状況

平成12年4月から平成15年3月までの各月における認定状況は、表Ⅲ-2-6-8のとおりである。(※なお、死亡された要介護者については、死亡した月から最終月：2003年3月まで死亡という結果を割り振った。よって死亡者については累計である)

表Ⅲ-2-6 調査対象高齢者群の認定の状態の変化 (初月 vs 末月)

2003年3月 2000年4月	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
非該当	37	(47.4)	9	(11.5)	11	(14.1)	2	(2.6)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
要支援	5	(1.2)	97	(22.7)	112	(26.2)	58	(13.6)	12	(2.8)	6	(1.4)	4	(0.9)
要介護1	1	(0.1)	33	(4.4)	204	(27.0)	165	(21.8)	78	(10.3)	35	(4.6)	14	(1.9)
要介護2	0	(0)	7	(0.8)	78	(8.8)	203	(23.4)	149	(17.2)	93	(10.7)	41	(4.7)
要介護3	0	(0)	0	(0)	15	(2.4)	63	(9.9)	114	(17.9)	122	(19.1)	65	(10.2)
要介護4	0	(0)	0	(0)	1	(0.2)	16	(2.6)	33	(5.3)	141	(22.5)	129	(20.6)
要介護5	0	(0)	0	(0)	1	(0.2)	1	(0.2)	2	(0.4)	27	(5.3)	162	(31.7)
その他の喪失	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
死亡	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
転出	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
未認定・失効	38	(0.7)	707	(12.0)	1414	(24.1)	885	(15.1)	493	(8.4)	332	(5.7)	224	(3.8)
合計	81	(0.8)	853	(8.6)	1834	(18.4)	1393	(14.0)	881	(8.9)	756	(7.6)	639	(6.4)

2003年3月 2000年4月	その他の喪失		死亡		転出		未認定・失効		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
非該当	10	(12.8)	0	(0)	9	(11.5)	0	(0)	78	(100)
要支援	67	(15.7)	1	(0.2)	20	(4.7)	46	(10.8)	428	(100)
要介護1	151	(20.0)	2	(0.3)	21	(2.8)	52	(6.9)	756	(100)
要介護2	231	(26.6)	8	(0.9)	12	(1.4)	49	(5.6)	869	(100)
要介護3	221	(34.6)	4	(0.6)	11	(1.7)	23	(3.6)	638	(100)
要介護4	270	(43.1)	8	(1.3)	5	(0.8)	23	(3.7)	626	(100)
要介護5	274	(53.6)	11	(2.2)	5	(1.0)	28	(5.5)	511	(100)
その他の喪失	150	(100)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	150	(100)
死亡	0	(0)	6	(100)	0	(0)	0	(0)	6	(100)
転出	0	(0)	0	(0)	9	(100)	0	(0)	9	(100)
未認定・失効	1031	(17.6)	5	(0.1)	120	(2.0)	624	(10.6)	5873	(100)
合計	2405	(24.2)	45	(0.5)	212	(2.1)	845	(8.5)	9944	(100)

表Ⅲ-2-7 調査対象高齢者群の認定の状態の変化 2000 4 vs 2000 5 (初月 vs 次月)

月 2000年4月	非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他の喪失	死亡	転出	合計
非該当	77	1	0	0	0	0	0	0	0	0	78
要支援	0	420	1	4	1	0	0	0	0	2	428
要介護1	0	0	745	2	2	1	0	4	0	2	756
要介護2	0	0	0	860	2	1	1	3	0	2	869
要介護3	0	0	0	0	626	2	1	8	0	1	638
要介護4	0	0	0	0	0	614	1	10	1	0	626
要介護5	0	0	0	0	0	0	486	23	1	1	511
その他の喪失	0	0	0	0	0	0	0	150	0	0	150
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
転出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
合計	78	462	794	917	654	629	501	198	8	17	9944

表Ⅲ-2-8 調査対象高齢者群の認定の状態の変化 2003 2 vs 2003 3 (次末月 vs 末月)

月 2003年2月	非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他の喪失	死亡	転出	合計
非該当	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79
要支援	0	804	30	3	1	1	0	1	0	2	854
要介護1	0	10	1704	22	6	1	1	13	0	3	1778
要介護2	0	0	23	1317	24	13	2	15	0	0	1402
要介護3	0	0	3	11	832	33	6	6	0	1	898
要介護4	0	0	0	0	2	692	15	12	0	0	728
要介護5	0	0	0	0	0	2	606	18	0	0	627
その他の喪失	0	0	0	0	0	0	0	2328	0	0	2328
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	45	0	45
転出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	205	205
合計	81	853	1834	1393	881	756	639	2405	45	212	9944

(7) 月別の認定状況

以下の定義により、高齢者の月毎の認定状態データを作成した。上記 9944 名について、2000 年 4 月から 2003 年 5 月までのそれぞれの月に認定状態を与えた。自立認定"1"は再認定があるまで有効とする。その他の認定は認定有効期間(開始)日の月から認定有効期間(終了)日の月まで有効とする。

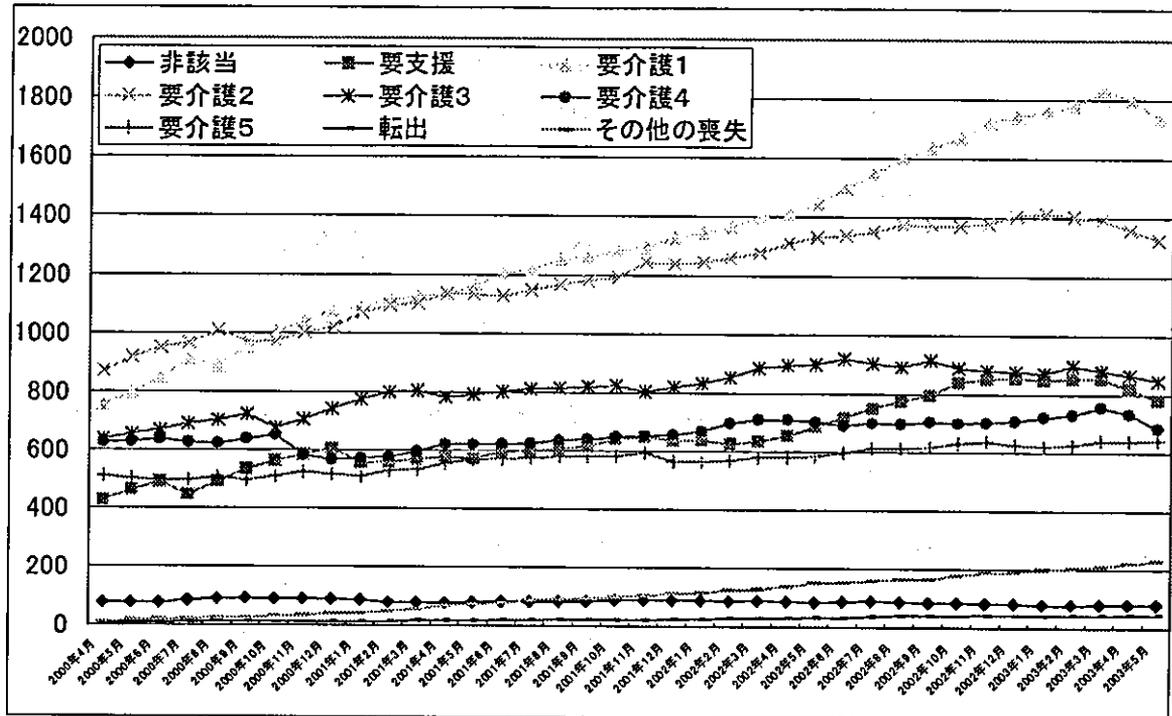
また、同様の定義で、高齢者の月毎の一次判定状態データを作成した。ただし、一次判定で要支援以上の判定であっても、二次判定で自立などとなった場合には、認定の有効期間がないことが生ずる。この場合には、その一次判定が二次判定日の月から 6 ヶ月有効とした。

なお、一次判定に伴って計算される中間評価項目の得点は、次の考え方で有効期間を定め、その間一定であるとしてデータ化した。認定に伴う値は、新たな認定があるまで有効、ただし、死亡など動態による資格喪失の場合、欠測値とした。

各月の認定状態を表および図にしめす。なお、2003 年 3 月までの認定申請データなので、有効なデータは 2003 年 3 月までとなるが、2003 年 4 月は 4 月申請で即月有効となったデータは把握できていない。また、2003 年 5 月は、2003 年 4 月申請で更新分が把握されていない分が減少している。

表Ⅲ-2-9 調査対象高齢者群の各月での認定の状態

	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		死去	転出	その他 の喪失			
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)		
2000年4月	78	(0.0)	428	(0.2)	756	(0.3)	869	(0.3)	638	(0.3)	626	(0.2)	511	(0.2)	150	(0.1)	6	(0.0)	9	(0.0)
2000年5月	78	(0.0)	462	(0.2)	794	(0.3)	917	(0.4)	654	(0.3)	629	(0.2)	501	(0.2)	198	(0.1)	8	(0.0)	17	(0.0)
2000年6月	78	(0.0)	489	(0.2)	845	(0.3)	952	(0.4)	669	(0.3)	636	(0.3)	494	(0.2)	239	(0.1)	8	(0.0)	19	(0.0)
2000年7月	85	(0.0)	447	(0.2)	912	(0.4)	967	(0.4)	690	(0.3)	626	(0.2)	487	(0.2)	279	(0.1)	10	(0.0)	22	(0.0)
2000年8月	91	(0.0)	492	(0.2)	889	(0.4)	1010	(0.4)	701	(0.3)	623	(0.2)	504	(0.2)	321	(0.1)	11	(0.0)	23	(0.0)
2000年9月	92	(0.0)	533	(0.2)	952	(0.4)	971	(0.4)	722	(0.3)	638	(0.3)	497	(0.2)	371	(0.1)	11	(0.0)	26	(0.0)
2000年10月	90	(0.0)	562	(0.2)	1001	(0.4)	975	(0.4)	676	(0.3)	652	(0.3)	509	(0.2)	430	(0.2)	12	(0.0)	31	(0.0)
2000年11月	90	(0.0)	583	(0.2)	1043	(0.4)	1001	(0.4)	706	(0.3)	582	(0.2)	525	(0.2)	479	(0.2)	12	(0.0)	32	(0.0)
2000年12月	89	(0.0)	605	(0.2)	1079	(0.4)	1022	(0.4)	742	(0.3)	567	(0.2)	516	(0.2)	526	(0.2)	13	(0.0)	39	(0.0)
2001年1月	87	(0.0)	554	(0.2)	1086	(0.4)	1071	(0.4)	774	(0.3)	572	(0.2)	508	(0.2)	597	(0.2)	14	(0.0)	43	(0.0)
2001年2月	79	(0.0)	556	(0.2)	1111	(0.4)	1095	(0.4)	797	(0.3)	576	(0.2)	530	(0.2)	667	(0.3)	14	(0.0)	48	(0.0)
2001年3月	79	(0.0)	568	(0.2)	1128	(0.4)	1105	(0.4)	803	(0.3)	596	(0.2)	533	(0.2)	743	(0.3)	17	(0.0)	56	(0.0)
2001年4月	78	(0.0)	577	(0.2)	1134	(0.4)	1137	(0.4)	783	(0.3)	621	(0.2)	555	(0.2)	802	(0.3)	17	(0.0)	68	(0.0)
2001年5月	80	(0.0)	573	(0.2)	1160	(0.5)	1133	(0.4)	792	(0.3)	621	(0.2)	568	(0.2)	865	(0.3)	18	(0.0)	74	(0.0)
2001年6月	82	(0.0)	596	(0.2)	1206	(0.5)	1128	(0.4)	802	(0.3)	623	(0.2)	571	(0.2)	914	(0.4)	20	(0.0)	78	(0.0)
2001年7月	83	(0.0)	597	(0.2)	1220	(0.5)	1149	(0.5)	812	(0.3)	625	(0.2)	573	(0.2)	987	(0.4)	20	(0.0)	86	(0.0)
2001年8月	83	(0.0)	605	(0.2)	1255	(0.5)	1170	(0.5)	815	(0.3)	636	(0.3)	580	(0.2)	1048	(0.4)	21	(0.0)	91	(0.0)
2001年9月	85	(0.0)	614	(0.2)	1261	(0.5)	1182	(0.5)	819	(0.3)	640	(0.3)	581	(0.2)	1122	(0.4)	21	(0.0)	95	(0.0)
2001年10月	88	(0.0)	641	(0.3)	1286	(0.5)	1192	(0.5)	823	(0.3)	648	(0.3)	582	(0.2)	1180	(0.5)	21	(0.0)	100	(0.0)
2001年11月	89	(0.0)	648	(0.3)	1294	(0.5)	1244	(0.5)	804	(0.3)	651	(0.3)	593	(0.2)	1245	(0.5)	21	(0.0)	104	(0.0)
2001年12月	89	(0.0)	635	(0.3)	1326	(0.5)	1237	(0.5)	818	(0.3)	655	(0.3)	565	(0.2)	1322	(0.5)	24	(0.0)	111	(0.0)
2002年1月	89	(0.0)	638	(0.3)	1347	(0.5)	1245	(0.5)	832	(0.3)	668	(0.3)	564	(0.2)	1398	(0.6)	26	(0.0)	116	(0.0)
2002年2月	86	(0.0)	627	(0.2)	1367	(0.5)	1260	(0.5)	853	(0.3)	696	(0.3)	568	(0.2)	1459	(0.6)	28	(0.0)	128	(0.0)
2002年3月	89	(0.0)	634	(0.3)	1400	(0.6)	1277	(0.5)	886	(0.3)	710	(0.3)	580	(0.2)	1517	(0.6)	29	(0.0)	130	(0.1)
2002年4月	87	(0.0)	655	(0.3)	1412	(0.6)	1311	(0.5)	895	(0.4)	710	(0.3)	580	(0.2)	1590	(0.6)	31	(0.0)	138	(0.1)
2002年5月	85	(0.0)	686	(0.3)	1443	(0.6)	1333	(0.5)	900	(0.4)	702	(0.3)	583	(0.2)	1641	(0.6)	32	(0.0)	150	(0.1)
2002年6月	86	(0.0)	716	(0.3)	1499	(0.6)	1338	(0.5)	920	(0.4)	690	(0.3)	597	(0.2)	1698	(0.7)	33	(0.0)	154	(0.1)
2002年7月	88	(0.0)	750	(0.3)	1547	(0.6)	1351	(0.5)	903	(0.4)	700	(0.3)	613	(0.2)	1770	(0.7)	37	(0.0)	159	(0.1)
2002年8月	87	(0.0)	774	(0.3)	1600	(0.6)	1375	(0.5)	892	(0.4)	695	(0.3)	613	(0.2)	1828	(0.7)	40	(0.0)	165	(0.1)
2002年9月	84	(0.0)	796	(0.3)	1635	(0.6)	1372	(0.5)	915	(0.4)	704	(0.3)	616	(0.2)	1900	(0.7)	40	(0.0)	166	(0.1)
2002年10月	84	(0.0)	838	(0.3)	1671	(0.7)	1371	(0.5)	889	(0.4)	700	(0.3)	631	(0.2)	1977	(0.8)	40	(0.0)	180	(0.1)
2002年11月	83	(0.0)	852	(0.3)	1722	(0.7)	1381	(0.5)	880	(0.3)	702	(0.3)	638	(0.3)	2056	(0.8)	42	(0.0)	189	(0.1)
2002年12月	83	(0.0)	855	(0.3)	1742	(0.7)	1406	(0.6)	876	(0.3)	708	(0.3)	627	(0.2)	2134	(0.8)	42	(0.0)	193	(0.1)
2003年1月	79	(0.0)	847	(0.3)	1757	(0.7)	1417	(0.6)	871	(0.3)	720	(0.3)	620	(0.2)	2232	(0.9)	43	(0.0)	200	(0.1)
2003年2月	79	(0.0)	854	(0.3)	1778	(0.7)	1402	(0.6)	898	(0.4)	728	(0.3)	627	(0.2)	2328	(0.9)	45	(0.0)	205	(0.1)
2003年3月	81	(0.0)	853	(0.3)	1834	(0.7)	1393	(0.5)	881	(0.3)	756	(0.3)	639	(0.3)	2405	(0.9)	45	(0.0)	212	(0.1)
2003年4月	81	(0.0)	818	(0.3)	1797	(0.7)	1360	(0.5)	866	(0.3)	733	(0.3)	640	(0.3)	2478	(1.0)	46	(0.0)	222	(0.1)
2003年5月	80	(0.1)	781	(0.5)	1735	(1.1)	1324	(0.8)	846	(0.5)	683	(0.4)	644	(0.4)	2548	(1.6)	46	(0.0)	230	(0.1)
合計	3204	(2.0)	24739	(15.7)	50624	(31.8)	45443	(28.9)	30843	(19.6)	25048	(15.9)	21673	(13.8)	47444	(30.1)	964	(0.6)	4107	(2.6)



図Ⅲ-2-1 月別の認定状況の推移

表Ⅲ-2-10 9944人が36ヶ月の間、どのような何回目の認定の状態を過ぎたかを集計した結果

第1回認定有効	55961
第2回認定有効	45665
第3回認定有効	34562
第4回認定有効	28055
第5回認定有効	17067
第6回認定有効	3881
第7回認定有効	345
第8回認定有効	7
死亡	42418 (9944名中、2405名は2003年3月 月末時点で死亡していた)
転出	3655
その他	872
失効	19610 (9944名中、1674名は失効した 経験がある)
合計	357984

(8) 年齢ごとの要介護度分布 (全体)

調査対象期間に認定された認定結果を年齢階層別にみると、表Ⅲ-2-11のような分布を示した。また、その結果を図にしたものが図Ⅲ-2-2である。

これらの結果より、どの年齢階層においても、要介護1や要介護2のような、比較的介護の必要量が少ないと思われる高齢者が多いことが見受けられる。

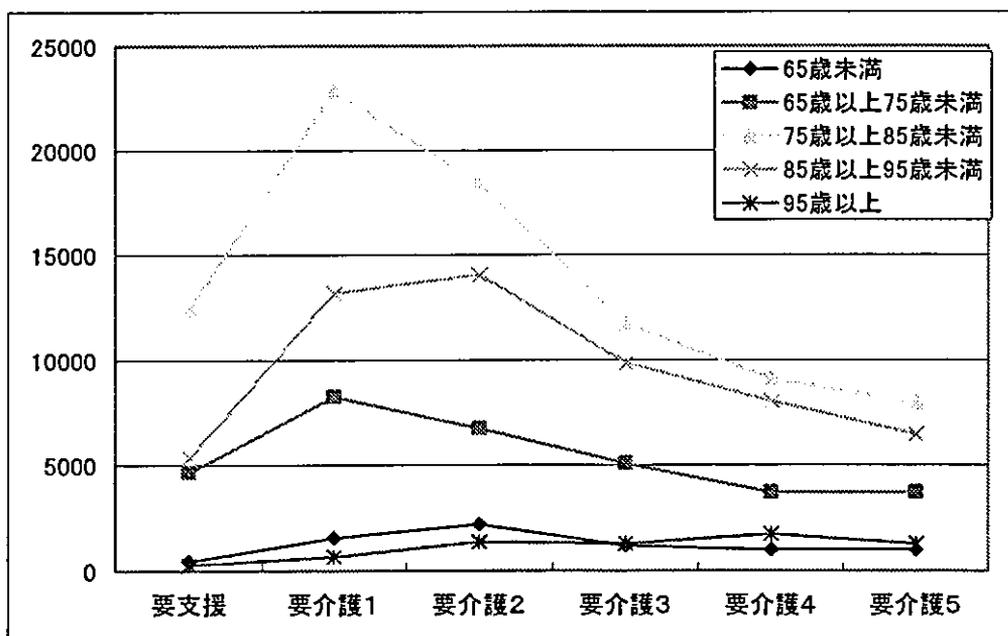
また、この結果は人数が多い年齢階層ほど明らかにみられる。

表Ⅲ-2-11 年齢階層別認定状況

	要支援		要介護度1		要介護度2		要介護度3	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
65歳未満	468	(0.3)	1560	(0.8)	2191	(1.2)	1170	(0.6)
65歳以上75歳未満	4634	(2.5)	8252	(4.4)	6739	(3.6)	5076	(2.7)
75歳以上85歳未満	12414	(6.7)	22841	(12.3)	18402	(9.9)	11739	(6.3)
85歳以上95歳未満	5352	(2.9)	13173	(7.1)	14059	(7.6)	9871	(5.3)
95歳以上	272	(0.1)	666	(0.4)	1368	(0.7)	1275	(0.7)
合計	23140	(12.5)	46492	(25.1)	42759	(23.0)	29131	(15.7)

	要介護度4		要介護度5		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
65歳未満	1014	(0.5)	994	(0.5)	7397	(4.0)
65歳以上75歳未満	3713	(2.0)	3693	(2.0)	32107	(17.3)
75歳以上85歳未満	9123	(4.9)	7969	(4.3)	82488	(44.5)
85歳以上95歳未満	8057	(4.3)	6469	(3.5)	56981	(30.7)
95歳以上	1725	(0.9)	1264	(0.7)	6570	(3.5)
合計	23632	(12.7)	20389	(11.0)	185543	(100)

注： サービス利用経験がないので正確な年齢不明の場合、生年から年齢を算出して補った。



図Ⅲ-2-2 年齢階層別認定状況

(9) 性別認定状況

次に、調査対象期間に認定された認定結果を性別も入れ年齢階層別にみると、表Ⅲ-2-12のような分布を示した。また、その結果を要介護度別に図にしたものが図Ⅲ-2-3~図Ⅲ-2-8である。

これらの結果より、男性と女性を比べてみると要支援や要介護度1など、比較的介護の必要量が少ない高齢者群ではその要介護度をうけた男性と女性に年齢構成に違いはあまりみられず、男性においては、どの要介護度においてもその年齢構成の割合はあまり変化が見られない。

一方、女性は、要介護度が高くなるにしたがって、年齢構成の割合が変化し、年齢の高い高齢者の割合が増えていることがわかる。

表Ⅲ-2-12 性別年齢構成別認定状況

	要支援		要介護度1		要介護度2		要介護度3	
	男性 N (%)	女性 N (%)	男性 N (%)	女性 N (%)	男性 N (%)	女性 N (%)	男性 N (%)	女性 N (%)
65歳未満	135 (0.2)	333 (0.3)	560 (1.0)	1000 (0.8)	1025 (1.9)	1166 (0.9)	543 (1.0)	627 (0.5)
65歳以上75歳未満	966 (1.8)	3668 (2.8)	2793 (5.1)	5459 (4.2)	3340 (6.1)	3399 (2.6)	2599 (4.8)	2477 (1.9)
75歳以上85歳未満	2694 (4.9)	9720 (7.4)	5357 (9.8)	17484 (13.3)	5958 (10.9)	12444 (9.5)	4096 (7.5)	7643 (5.8)
85歳以上95歳未満	1338 (2.5)	4014 (3.1)	3015 (5.5)	10158 (7.7)	3274 (6.0)	10785 (8.2)	2529 (4.6)	7342 (5.6)
95歳以上	73 (0.1)	199 (0.2)	180 (0.3)	486 (0.4)	353 (0.6)	1015 (0.8)	268 (0.5)	1007 (0.8)
合計	5206 (9.6)	17934 (13.7)	11905 (21.9)	34587 (26.4)	13950 (25.6)	28809 (22.0)	10035 (18.4)	19096 (14.6)

	要介護度4		要介護度5		合計	
	男性 N (%)	女性 N (%)	男性 N (%)	女性 N (%)	男性 N (%)	女性 N (%)
65歳未満	504 (0.9)	510 (0.4)	474 (0.9)	520 (0.4)	3241 (6.0)	4156 (3.2)
65歳以上75歳未満	2121 (3.9)	1592 (1.2)	2143 (3.9)	1550 (1.2)	13962 (25.6)	18145 (13.8)
75歳以上85歳未満	3107 (5.7)	6016 (4.6)	2195 (4.0)	5774 (4.4)	23407 (43.0)	59081 (45.1)
85歳以上95歳未満	1513 (2.8)	6544 (5.0)	991 (1.8)	5478 (4.2)	12660 (23.3)	44321 (33.8)
95歳以上	169 (0.3)	1556 (1.2)	132 (0.2)	1132 (0.9)	1175 (2.2)	5395 (4.1)
合計	7414 (13.6)	16218 (12.4)	5935 (10.9)	14454 (11.0)	54445 (100)	131098 (100)

(10) 入所状態別認定状況

調査対象期間に認定された認定結果を入所状態（在宅サービス利用か施設サービス利用か）を入れ年齢階層別にみると、表Ⅲ-2-13のような分布を示した。また、その結果を要介護度別に図にしたものが図Ⅲ-2-9～図Ⅲ-2-14である。

これらの結果より、どの要介護度においても、施設サービスを利用しているのは年齢階層が高い階層であることがわかる。また、どちらの入所状態であっても、その年齢構成の割合は要介護度によらず、あまり大きな変化は見られない。

表Ⅲ-2-13 入所状態別年齢階層別認定状況

	要支援		要介護度1		要介護度2		要介護度3	
	在宅 N (%)	施設 N (%)						
65歳未満	468 (0.3)	0 (0)	1487 (1.0)	73 (0.2)	2059 (1.4)	132 (0.3)	1103 (0.8)	67 (0.2)
65歳以上75歳未満	4569 (3.2)	65 (0.2)	7842 (5.5)	410 (1.0)	5892 (4.1)	847 (1.9)	3942 (2.7)	1134 (2.9)
75歳以上85歳未満	12105 (8.4)	309 (0.7)	20515 (14.3)	2326 (5.5)	13991 (9.7)	4411 (10.8)	7902 (5.5)	3837 (9.4)
85歳以上95歳未満	5210 (3.6)	142 (0.4)	11366 (7.9)	1807 (4.3)	10450 (7.3)	3609 (7.9)	6576 (4.6)	3295 (8.2)
95歳以上	253 (0.2)	19 (0.0)	512 (0.4)	154 (0.4)	1007 (0.7)	361 (0.9)	738 (0.5)	537 (1.2)
合計	22605 (15.7)	535 (1.3)	41722 (29.0)	4770 (11.4)	33399 (23.2)	9360 (21.8)	20261 (14.1)	8870 (21.8)

	要介護度4		要介護度5		合計	
	在宅 N (%)	施設 N (%)	在宅 N (%)	施設 N (%)	在宅 N (%)	施設 N (%)
65歳未満	882 (0.6)	132 (0.3)	841 (0.6)	153 (0.4)	6840 (4.8)	557 (1.3)
65歳以上75歳未満	2528 (1.8)	1185 (2.8)	2693 (1.9)	1000 (2.5)	27466 (19.1)	4641 (11.3)
75歳以上85歳未満	5107 (3.6)	4016 (10.1)	4411 (3.1)	3558 (8.3)	64031 (44.5)	18457 (44.8)
85歳以上95歳未満	4131 (2.9)	3926 (9.6)	3682 (2.6)	2787 (6.7)	41415 (28.8)	15566 (37.0)
95歳以上	922 (0.6)	803 (1.8)	686 (0.5)	578 (1.2)	4118 (2.9)	2452 (5.5)
合計	13570 (9.4)	10062 (24.6)	12313 (8.6)	8076 (19.2)	143870 (100)	41673 (100)

3.介護保険サービスの利用に関する分析

(1) データの概要

平成12年4月から平成15年3月までの36か月分の要介護認定基本調査項目の調査結果から、各サービス別に要介護度別、性別、年齢階層別にサービスの利用回数について、集計（要介護別、利用回数の最大値、最小値、平均、中央値、第一四分位点：データを小さい順に整序して先頭から1/4の順位のデータの値、第三四分位点：データを小さい順に整序して先頭から3/4の順位のデータの値）を行った。（別添資料編1参照）

以下の表に示したように、保険点数は増加していた（なお、特定施設、入所者生活介護、特定福祉用具購入、住宅改修サービスについては、データに含まれていない。）

表Ⅲ-4-1 サービスデータ 月毎の集計

年 月	元データ		有効認定者分*		有効認定分#	
	レコード数	保険点数	保険点数	%	保険点数	%
2000 4	7965	48242355	47996528	1.00	42445056	0.88
2000 5	8015	50836720	50497185	0.99	45473040	0.89
2000 6	7927	49400843	49029158	0.99	45857408	0.93
2000 7	8209	52411643	52082819	0.99	48030138	0.92
2000 8	8254	53392980	53048434	0.99	49190958	0.92
2000 9	8531	52528425	52271017	1.00	47861818	0.91
2000 10	8652	54045647	53815940	1.00	49117241	0.91
2000 11	8789	51088333	50873034	1.00	47875327	0.94
2000 12	8805	53185587	52969126	1.00	49602585	0.93
2001 1	8780	52168692	51895920	1.00	48422615	0.93
2001 2	8892	50640798	50399480	1.00	46912717	0.93
2001 3	9169	56091743	55854862	1.00	52175812	0.93
2001 4	9664	56000221	55725092	1.00	52139125	0.93
2001 5	9993	58952406	58612914	0.99	54933100	0.93
2001 6	10045	59065921	58800381	1.00	54864307	0.93
2001 7	10186	60764683	60577959	1.00	56776709	0.93
2001 8	10297	61476123	61307270	1.00	57460138	0.94
2001 9	10534	59363538	59245394	1.00	55511383	0.94
2001 10	10820	63674150	63547420	1.00	59679288	0.94
2001 11	11058	61548632	61455621	1.00	57608570	0.94
2001 12	11143	62133092	62038608	1.00	57849764	0.93
2002 1	11173	62291678	62196393	1.00	57529917	0.92
2002 2	11312	60914737	60820064	1.00	56030309	0.92
2002 3	11524	66199947	66074323	1.00	62024913	0.94
2002 4	12066	68403804	68280181	1.00	63697181	0.93
2002 5	12198	70816543	70663287	1.00	66483568	0.94
2002 6	12354	69882402	69733760	1.00	65573974	0.94
2002 7	12653	74078280	73866288	1.00	69779834	0.94
2002 8	12653	74081567	73887916	1.00	69653740	0.94
2002 9	12981	72953478	72710887	1.00	68279441	0.94
2002 10	13385	77489013	77152611	1.00	72606123	0.94
2002 11	13432	74507369	74064866	0.99	69483956	0.93
2002 12	13510	75520657	75029375	0.99	70785594	0.94
2003 1	13275	73674228	73131377	0.99	69281639	0.94
2003 2	13202	70712580	70124241	0.99	66095622	0.94
2003 3	12982	75433003	74588803	0.99	71600942	0.95
合計	384428	2233971818	2224368534	1.00	2078693852	0.93

* 有効認定を一度でも受けたもののサービス利用

有効認定状態でのサービス利用(無資格/資格喪失月の利用などを除いた)

% は H1レコードの単純集計に対する比率

(2) 介護サービスの利用者

介護サービスを利用していた高齢者は、235,531人月[月平均6,542.5人]であった。

表Ⅲ-4-2 認定状態の延べ分布(人月)

	自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	死去	その他	転出	合計
2001年3月まで	1016	6279	11596	11955	8572	7323	6125	5000	136	365	119328
2002年3月まで	2037	13664	26852	26309	18411	15117	13005	18859	402	1544	238656
2003年3月まで	3043	23140	46492	42759	29131	23632	20389	42418	872	3655	235531

このうち、2003年3月までの期間中に有効な認定を受けたことのあるものは、9,661人であった。

表Ⅲ-4-3 対象集団(9,944人)の36ヶ月の認定状態

	要介護度なし		要介護度あり		合計	
	人月	(%)	人月	(%)	人月	(%)
要支援でもない	172441	(48.2)	0	(0)	172441	(48.2)
要支援以上	23140	(6.5)	162403	(45.4)	185543	(51.8)
合計	195581	(54.6)	162403	(45.4)	357984	(100)

(3) 施設サービスの利用者の概要

入退所記録から入所人数を把握した。表Ⅲ・4・4 に示したように、入所人数は増えていっているが、有効認定数が増加しているため、入所割合は微減していることがわかる。

表Ⅲ・4・4 経歴上の入所の人数

年	月	入所のべ日数	一日当り換算	有効認定数	入所割合(%)
2000	4	27546	918.2	3828	24.0
2000	5	29303	945.3	3957	23.9
2000	6	29641	988	4085	24.2
2000	7	31207	1006.7	4139	24.3
2000	8	31586	1018.9	4219	24.2
2000	9	30372	1012.4	4313	23.5
2000	10	31144	1004.6	4375	23.0
2000	11	30071	1002.4	4440	22.6
2000	12	31271	1008.7	4531	22.3
2001	1	31148	1004.8	4565	22.0
2001	2	28874	1031.2	4665	22.1
2001	3	31898	1029	4733	21.7
2001	4	31229	1041	4807	21.7
2001	5	32220	1039.4	4847	21.4
2001	6	31696	1056.5	4926	21.5
2001	7	33511	1081	4976	21.7
2001	8	33365	1076.3	5061	21.3
2001	9	32171	1072.4	5097	21.0
2001	10	32872	1060.4	5172	20.5
2001	11	31578	1052.6	5234	20.1
2001	12	33235	1072.1	5236	20.5
2002	1	32981	1063.9	5294	20.1
2002	2	31221	1115	5371	20.8
2002	3	35234	1136.6	5487	20.7
2002	4	35079	1169.3	5563	21.0
2002	5	36674	1183	5647	21.0
2002	6	36267	1208.9	5760	21.0
2002	7	38525	1242.7	5864	21.2
2002	8	38822	1252.3	5949	21.1
2002	9	38000	1266.7	6038	21.0
2002	10	39321	1268.4	6100	20.8
2002	11	37811	1260.4	6175	20.4
2002	12	39616	1277.9	6214	20.6
2003	1	39197	1264.4	6232	20.3
2003	2	35958	1284.2	6287	20.4
2003	3	39357	1269.6	6356	20.0

(4) 入所サービス利用者の要介護度

①入所経験と要介護認定経験

入所経験については、入所日数と外泊日数の合計が月の日数以上の月を完全入所月として、それが一月に満たない入所を短期と呼ぶことにして集計している。「短期のみ」とは短期入所のみが記録されていることを意味する。また、「一月以上」とは少なくともある一月に完全入所していた経験のあることをいう。また、常時入所というのは、要介護度1以上の認定を受けていた月数より、完全入所していた月数が多い、つまり、入所可能な月には入所していた場合をいう。なお、ここで要介護1以上の認定を得た"経験"がない者を分類上無資格といっている。ただし無資格ではないと分類されている場合でも、入所していた月に資格を持っていたとは限らない。(表Ⅲ-4-5)

表Ⅲ-4-5 個人ごとの有効資格をもった入所経験と要介護認定経験

	経験なし		要支援のみ		要介護も有		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%
経験なし	290*	2.9	961	9.7	6286	63.2	7537	75.8
短期のみ	0	0	0	0	243	2.4	243	2.4
一月以上	0	0	0	0	1634	16.4	1634	16.4
常時入所	0	0	0	0	510	5.1	510	5.1
無資格短期入所	3	0.0	15	0.2	0	0	18	0.2
無資格入所	2	0.0	0	0	0	0	2	0
合計	295	3.0	976	9.8	8673	87.2	9944	100

* 当初から資格のなかった165人を含む

(5) 在宅サービス利用者の要介護度

①認定状態と在宅サービスの利用

要介護度別に在宅サービスを利用の有無を解析した結果、在宅サービス利用の割合を要介護度別に利用率として算出した結果、割合が高かったのは、要支援69.1%、要介護1の69.5%、要介護2の63.7%であった。

表Ⅲ-4-6 認定の状態と在宅サービスの利用

	なし		あり		合計		利用率
	人月	%	人月	%	人月	%	
要支援	7152	2.0	15988	4.5	23140	6.5	69.1
要介護1	14162	4.0	32330	9.0	46492	13.0	69.5
要介護2	15526	4.3	27233	7.6	42759	11.9	63.7
要介護3	12668	3.5	16463	4.6	29131	8.1	56.5
要介護4	13396	3.7	10236	2.9	23632	6.6	43.3
要介護5	11467	3.2	8922	2.5	20389	5.7	43.8
自立	3043	0.9	0	0	3043	0.9	0
死亡	42418	11.8	0	0	42418	11.8	0
その他	872	0.2	0	0	872	0.2	1.1
転出	3655	1.0	0	0	3655	1.0	0
未認定	121104	33.8	1349*	0.4	122453	34.2	0
合計	245463	68.6	112521	31.4	357984	100	31.4

* 未認定でのサービス利用がのべ1349人月あった。

②入所経験と在宅サービスの利用

在宅サービスの利用者は、入所経験がない者は、在宅サービスを利用している割合は、73.3%、短期の入所の経験者は、79.8%、1ヶ月以上の入所経験がある者は、56.7%と示され、短期入所をした経験がある群の在宅サービスの利用割合は高かった。

表Ⅲ-4-7 入所経験と在宅サービス利用

	サービス利用		
	なし	あり	合計
入所経験なし	2016	5521	7537
短期のみ	49	194	243
一月以上	708	926	1634
常時入所	433	77*	510
無資格短期入所	4	14	18
無資格入所	0	2	2
合計	3210	6734	9944

*完全入所の月の在宅サービス利用はのべ 3472 月あったが、うち、外泊のない月での利用は 246 件であった。

(6) 訪問系サービス利用回数の総利用回数

介護保険サービス利用回数に関して、平成12年4月から平成15年3月までの36か月分の要介護認定基本調査項目の調査結果から、各サービス別に要介護度別、性別、年齢階層別にサービスの利用回数について、集計（要介護別、利用回数の最大値、最小値、平均、中央値、第一四分位点：データを小さい順に整序して先頭から1/4の順位のデータの値、第三四分位点：データを小さい順に整序して先頭から3/4の順位のデータの値）を行った。

訪問系サービス利用回数の総利用回数は、826,953回であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果は、以下の通りであった。

要介護度別には、要介護1が最も高く、次いで要介護2、要介護3の順となっている。性別では、女性が男性の約2倍にのぼっている。年齢階層では、75-85歳が最も多く、次いで85歳から95歳と続いていた。

表Ⅲ-4-8 訪問系サービス利用回数の総利用回数（要介護度別）

回数	訪問系サービス				合計
	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	
要支援	69451	22	1452	5	70930
要介護1	177545	499	10459	244	188747
要介護2	157433	2250	15090	368	175141
要介護3	113455	4822	14549	237	133063
要介護4	93110	7705	16478	204	117497
要介護5	95255	15663	30214	443	141575
合計	706249	30961	88242	1501	826953

表Ⅲ-4-9 訪問系サービス利用回数の総利用回数（性別）

回数	訪問系サービス				合計
	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	
男	217095	11894	34804	1164	264957
女	489154	19067	53438	337	561996
合計	706249	30961	88242	1501	826953

表Ⅲ-4-10 訪問系サービス利用回数の総利用回数（年齢階層別）

回数	訪問系サービス				合計
	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	
65歳未満	42304	1965	4807	254	49330
65歳以上75歳未満	136574	5712	17677	706	160669
75歳以上85歳未満	307795	9392	33013	460	350660
85歳以上95歳未満	203158	11009	28618	81	242866
95歳以上	16418	2883	4127	0	23428
合計	706249	30961	88242	1501	826953